

【新聞掲載】リフォーム産業新聞に掲載されました 天井に施す遮音対策制振材

リフォーム産業新聞社様より取材依頼をいただき、紙面に掲載されました。

リフォーム産業新聞 2024/04/08

リフォーム産業新聞

2024. 4. 8 (6)



▲実際の施工写真

点が必要ない。床の重畳の増加や受音側ではなく被クレーム側である上階での工事が必要な点がデメリット

みやちゅう (宮城県仙台市) は、住宅上階からの音の伝わりを低減する「天井制振材」を大成建設(東京都新宿区)と共同で開発し製造・販売を手掛ける。今年1月に宮城県発の優れた工業製品として「第16回みやき優れモノ」に認定された。

天井に施す遮音対策制振材

地産材料使用で地域活性化に

みやちゅう(宮城県仙台市)は、住宅上階からの音の伝わりを低減する「天井制振材」を大成建設(東京都新宿区)と共同で開発し製造・販売を手掛ける。今年1月に宮城県発の優れた工業製品として「第16回みやき優れモノ」に認定された。

天井制振材の特徴は遮音対策を上階の床ではなく、下階の天井に施工点にある。従来の集合住宅などにおいて床衝撃音に對する遮音対策は、二重床の施工や床コンクリートスラブを厚くするなどが多い。床の重畳の増加や受音側ではなく被クレーム側である上階での工事が必要な点がデメリット

▲実際の施工写真

点が必要ない。床の重畳の増加や受音側ではなく被クレーム側である上階での工事が必要な点がデメリット

ただ、天井制振材の施工は天井裏で完結するため、住人同士による騒音トラブルを回避できる。天井制振材は天然鉱石のセオライトを詰めた細長い袋が9つ連なった形状をしており、天井裏の下地に密着するように敷き詰めることで遮音の効果を発揮する。セオライトは火山灰が圧縮されてできた鉱物。上階から伝わる振動をセオライトが受け、粒同士が摩擦することで熱エネルギーに変換される。振動エネルギーを抑えることで騒音を小さくする。築40年の物件に天井制振材を施工した事例では、通常、防音効果が発揮した。

音のために300mm厚ほどの床コンクリートスラブが、150mm厚しかなかった。同商品を施工したところ、300mm厚の床スラブと同程度の遮音効果が発揮した。

菊池圭吾 社長

施工に特別な技能は必要なく、天井裏の下地に引っかけただけ。その容易さから新築だけでなく既存の住宅にも適する。他にも、集合住宅においては床スラブの厚みを抑えられるため、30階建てにするところを31階にして建設が可能になるなど様々な場で効果を発揮する。販売開始後ホムルや新築住宅、リフォーム、道路や鉄道沿いの集合住宅などから相談があまり引き合いが多い。

「みやき優れモノ」は、宮城県内外に発した工業製品を県内外に発信するための制度。技術、販売、経営等様々な支援を行い、宮城県から数多くのヒット商品を生み出すことを目的としたもの。

「宮城県産のセオライト、運送も含めて地場のものに。みんなの協力が必須で、チーム宮城としてサプライヤーの皆さんと集まってもらって始まった。地元で調達できるようなもので商品開発していくことに意義がある」

天井制振材の製品ホームページ

<https://miya-chu.co.jp/t-silent-ceiling/>

賃貸住宅フェア 2024 in 東京 に出展いたします



株式会社みやちゅう(代表取締役 菊池圭吾 本社:仙台市若林区)では、8月6日(火)、7日(水)に東京ビッグサイトで開催される「賃貸住宅フェア 2024 in 東京」に出展いたします。

【出展企業情報】 <https://zenchin-fair.com/2024/tokyo/archives/5419#magyou>

【出展製品(予定)】： 天井制振材、静換気